

4 教育学部生が「～わだいの寺子屋～ まちかど土曜楽交」を開催！

1/29（土）、和歌山大学まちかどサテライトにて「～わだいの寺子屋～まちかど土曜楽交（どうがっこう）」が開催されました！和歌山大学の教育学部1回生の有志10名が「地域の子もたちに学ぶ楽しさを知ってほしい」と考え、学生の手で授業計画をつくって実践する取り組みです。

授業では道具を使わずに、つまり折ったり破ったりしかできないというルールの中で、少しでも紙を高く積み上げられるような作戦をみんなで考えて協力しあう「紙タワー」や、都道府県の形をピースにして日本地図のパズルを組み立てる「地図はかせになろう」、寒天でできた円錐や円柱をさまざまな角度から切断し、断面がどんな形になるかを体験する「いろんな角度からものを見てみよう」などの参加型・体験型の授業で新しい学びの場を提供しました。「まちかど土曜楽交」は、



来年4月以降もレギュラーで実施される予定です。現在は準備中ですが、詳細な日程や申込み方法、その他のニュースなどが分りましたら和歌山大学HP等で随時お知らせしていきます。

詳しくは [まちかど土曜楽交](#)

検索

5 和歌山大学南紀熊野サテライト開設5周年記念事業を実施しました

12/23（祝）、和歌山大学南紀熊野サテライトがある和歌山県立情報交流センターBig・Uにて開設5周年記念事業「南紀熊野でワダイを発信—地域から宇宙まで—」を実施し、地域住民、学生、大学関係者合わせて約250名が参加しました。

教育学部本山貢教授によるシニアエクササイズをテーマとした講演とエクササイズの実演や、「紀伊半島学」と題した12名の教員による研究報告、また観光学部尾久土正己教授による「熊野から宇宙へ」と題した講演などの、南紀熊野地方との連携活動をテーマにした様々な研究報告が行われました。

また、「南紀熊野」を題材とした学生研究発表としてシステム工学

部生の近藤洋平さんが「古座川での自然体験で学んだこと」をテーマに報告を行いました。近藤さんは報告の中で、「講義などで学んできたことを実際に肌で感じることができ、より深い理解と地域について考える機会を得られた。現場に来ないと分からないことがたくさんあることを知った。せっかく和歌山大学に入学したので、もっと南紀熊野で学びたい。」と発表していました。

このほかにも、地域の特産品の販売や経済学部鈴木裕範ゼミの学生が地域と協働して作ったお米「太田米」の販売や、和歌山大学学生によるよさこいチーム「和歌乱」による演舞など、学生が元気に地元と交流していました。



詳しくは [南紀熊野サテライト 5周年](#)

検索

6 観光学部の校舎が建設中です

経済学部本館棟北側スペースに現在建設中です。木造2階建て、ホール棟、研究室棟、スタジオ棟から構成され、これまで、経済学部、教育学部、システム工学部等の各棟に分散配置していた研究室等を集約します。来春の完成をめざし、工事が進んでおります。

